

わかりやすく反論を提示しよう

プレゼンテーションの表現と構成

小西卓三（東海大学講師 JDA 会員）

1 はじめに

本稿では、ディベートの試合でわかりやすいプレゼンテーションをするのに役立つ構成方法について考えてみます。最初によいスピーチの構成要素を提示して簡単な考察をし、次に相手の議論への反論方法を紹介し、最後に反論の構成方法について説明してみます。例としては英語ディベートを扱っていますので、そのまま日本語で実践すると言語規範・慣習の点で問題があるかもしれませんが¹、参考にはなるでしょう。

2 ディベートにおけるよいスピーチとは

ディベートの試合におけるディベーターの使命は、「命題を肯定・否定する」ことです。この使命を果たすのに役立つスピーチが、ディベートにおけるよいスピーチであると言えます。聞いていて、「ああなるほど、命題は肯定（否定）されているのだな」ということがわかるスピーチはよいと言うことです。

もう少し分析的に述べると、「議論の内容がしっかりしていて、わかりやすい」スピーチはよいと言えます。内容とわかりやすさを実際に区別するのはそれほど容易ではありませんが、説明のために分けさせていただきます。ディベートは議論の優劣によって命題の肯定・否定を決める活動ですから、議論の内容がしっかりしていないとお話になりません。主張とその前提（claim and support）の結びつきが強固であり、前提自体が妥当なものであれば議論はよいものであると言えます。ディベート（特に競技ディベート）は事前の準備の比重が高く、その場ですべての議論の内容を考えている訳ではありません。しかし、提示する議論の内容はしっかりしていればしている程よいスピーチになりうることに異論はないかと思えます。

わかりやすさというのはいくつかの要素によって構成されています。ことばの的確な使用（文法・構文・発音・単語の選択など）、話の展開や構成、聞き取りやすいスピードなどがあるでしょう。内容がしっかりしていても、聞き手（審査員）に伝わらなければ意味がありません。議論を作って満足するのではなく、リハーサルをして上手なプレゼンテーションをできるようにしましょう。

¹清（2000，59-60）は英語の表現を翻訳したような言葉づかいでコミュニケーション教育が成されていることに対して、言語的側面と対人関係の面から懸念を表明しています。

多少単純化して内容とわかりやすさでスピーチを分類すると、下の図 1 のようになります。A に分類されるスピーチはわかりやすさと内容のよさを兼ね備えており、とてもよいと言えるでしょう。B に分類されるスピーチは、わかりやすいのですが内容に乏しいためによりとは言えません。C に分類されるスピーチは、内容はよいのですがわかりにくいためによりとは言えません。C の場合、聞き手である審査員がかなり積極的に理解につとめないといけませんし、ディベーターが意図していないように聞き手が理解してしまう可能性があります。D に分類されるスピーチは、わかりにくく内容に乏しいので悪いスピーチと言えます。内容とわかりやすさの区別の難しさと、内容・わかりやすさは各々程度問題であることを考えると、下記の図が絶対的なものであるとは言えないでしょうが、よいスピーチを考える目的には役立つくれるでしょう。

		内容	
		よい	わるい
わかりやすさ	わかりやすい	A	B
	わかりにくい	C	D

図 1: スピーチの分析

3 相手の議論にどのように反論するのか？

命題を肯定・否定するためには、ディベートの試合の中で相手の議論に何らかの反論をしなければいけません。反論する対象は相手の議論であるので、この項ではまず簡単に議論の構成要素と議論の表現方法を説明します。次に反論の方法について述べてみます。

命題を肯定・否定するためにディベーターは議論 (argument) を提示しますが、それは主張 (claim/conclusion) と理由付け (support/premise) によって成り立っています。議論は以下のような表現で提示できます。

<p>I <u>argue</u> that S+V, <u>because</u> S+V I <u>believe</u> that S+V, <u>for</u> S+V I am certain that S+V, <u>for the reason that</u> S+V <u>Given that</u> S+V, I conclude that S+V It follows from X that S+V. (X のため S+V である。) I <u>conclude</u> that S+V, because of <u>My conclusion is that</u> S+V <u>As indicated/shown by</u> X, I argue that S+V. (X に示されているように) に)²</p>
--

²Johnson & Blair (1993) および Romain (1997) を参照しました。この部分以外の枠内の英文は 1984 年、1987 年、1990 年の National Debate Tournament の決勝戦記録から引用しています。

言いたいことを限られた時間の中で簡潔に言うことがディベートではよいとされることが多いため，“I believe”，“I think”，“I am certain”などは省略されることがあります。しかしながら、「これが自分たちの主張なんだ」とわかってもらうためには、時にあえて冗長な表現を使うことも必要になるでしょうから、上記表現を使えるようにしておきましょう。

相手の議論に反論する場合、どのような根拠を基に反論しているのかが聞き手にわからないといけません。例えば，“What s/he says is wrong!”と主張したところで、なぜ誤っているのかがわからないと反論としては意味を成しません。つまり、よい反論はそれ自体が議論でないとならず、主張と理由付けによって構成されていないといけません。単に主張だけ述べても、よい反論になりえないのです。

議論は主張と理由付けによって構成され、反論も同様に主張と理由付けによって構成されることが上記で明らかになりましたが、相手の議論に反論する方法にはどのようなものがあるのでしょうか？グッドナイト（Goodnight）（1991，87-88）には（1）理由付けを否定する（2）別の立場を提示して相手の立場を否定する（3）（1）と（2）を組み合わせる（4）相手の言うことを認めるという4つの方法が掲載されています。便宜上この枠組みを使って説明を進めていきます³。

（1）の「理由付けを否定する」方法としては、理由自体の真偽に問題があると主張する方法と、理由自体の真偽には問題ないが主張の適切なサポートになっていないと主張する方法があります。理由自体の真偽に問題があると述べる場合、ディベートの試合では証拠資料（evidence）を検証してその問題点を指摘することが多いでしょう。そのように指摘する時に以下の表現が使えます。

AUTHORITY：権威

There is no authority.

BIAS：偏見，偏りがある

Negative evidence (is) biased.

EMPIRICAL：経験的な

Turns empirically untrue.

There is no empirical link.

EVIDENCE (CARD)：証拠資料

There is no evidence that indicates ...

First of all evidence is old.

This evidence is ridiculous.

Evidence is a complete blurb. (You) should not accept it.

³分類方法として（1）-（4）は受け入れていますが、内容は多少変更しました。

PROVE : 証明する , 示す

She didn't prove ...

QUALIFICATION : 肩書き

There's no qualification on any of this evidence. We're reading qualified sources through the constructives.

REASON : 理由

There's no reason in the evidence why ... There's no reason for that.

理由付けが表面的に正しそうであっても主張の理由としては適切でないと述べる場合は、以下のような表現を使うことができます。

APPLY : あてはまる

I don't think it applies.

Their evidence does not apply.

All of arguments apply.

She says, our evidence does not apply.

IRRELEVANT : 無関係の

He said, ... is irrelevant, but ...

I'm going to grant six and seven. Free speech is irrelevant. Makes all the turns irrelevant as well.

(2)の「別の立場を提示して相手の立場を否定する」方法とは、自分で主張と理由を基に議論を提示するというものです。例えば、「外国人が日本国籍を取得するのは難しい」と主張してきた相手に、「外国人が日本国籍を取得するのは簡単である。例えば...」という風にして反論することなどが挙げられるでしょう。この種の反論は相手の議論を細かく吟味しなくても提示できるでしょう。

(3)の(1)と(2)を組み合わせる方法とは、相手の議論を弱めた上で、自分から別の議論を提示するものです。競技ディベートの中では、相手の提示した証拠資料(またはその他の理由付け)を検証し、その上で自分の議論を出すという流れの中で非常に多く用いられていると思います。

(4)の「相手の言うことを認める」というのは、厳密に言うと反論ではありません。なぜなら、ディベーターは認めたことを前提として用いて主張を提示するので、「反論 = 議論」という先の概念には当てはまらないからです。しかしながら、相手のことを認めることは時にとても重要です。ディベートでは命題の肯定・否定を行うためか、対立という

側面が強調されることがあります。そのためか反論しなくてもいい議論にディベーターが反論してしまうことが時にあります。しかし、本当は命題を肯定・否定することができるのならば、相手の言うことをすべて認めてしまっても構わないのです。この主張は極端に聞こえるかもしれませんが、実際ディベートの試合で提示される議論の中で、「反論をしない=相手の言うことを暗黙に認めている」もののほうが、争点になっているものの数より多いことはよくあります。命題を肯定・否定するためには相手の議論のどの部分を最終的に認めることができ、どの部分を認めることができないのか判断した上で自分の反論を構築していくと、より効果的な反論ができるでしょう。相手の議論を認めるときに使いうる表現としては、以下のようなものがあります。

ADMIT : 認める

She admits to me in cross-exam at ...

CONCEDE : 認める

We'll concede number one ...

FLIP/TURN something BACK ON them : 議論を逆手にとって相手に返す

...flipping back all of his arguments.

We flip this back on them.

..., which turns case back on them.

turns their card back on them.

GRANT : 認める I'm going to grant six and seven.

She grants link to religion.

... is granted at the top of A subpoint.

I'll grant them the arms race.

He grants our evidence.

以上4つの反論方法を説明しましたが、相手の議論と手持ちの議論に応じて使い分けて、言いたいことを適切なことばで表現してください。

4 反論の構成方法

わかりやすい構成の反論という主題にたどり着きました。わかりやすい構成としては、トーマス(Thomas)(1987)に依って(1)反論の4つのタスク(2)グルーピングについて述べ(3)ナンバリングについても説明します。

(1)の反論の4つのタスクについて、議論が何であり、その議論がディベーターの立場にどのような意義を持つのか伝えるため以下のことをするべきだと、トーマス(1987, 97)は述べています。

1. State the point which is to be refuted.
(反論するポイントを述べる。)
2. State his [sic] own position on the point.
(反論するポイントについて、自分の立場を述べる。)
3. Make the argument which proves his [sic] position.
(自分の立場を立証する理由を述べる。)
4. Relate the point to the opponent's position.
(自分の立場を相手の立場に関連づける。)

すなわち、1.どこに反論したいのか、2.何を言いたいのか、3.何でそのことが言えるのか、4.自分の言いたいことと相手の立場との関係はどういうものなのかということ、を反論の時には述べてほしいということです。トーマスは具体例も挙げてありますので、そのまま引用します。

(1) Our opponents have claimed that federal funding will make taxation less regressive. (2) I argue that the advantage is not unique to the plan. (3) The present system of financing schools can be reformed so that the schools can be financed through state income taxes, and the local property tax itself can be improved. (Present the proof.) (4) Therefore, we do not need the affirmative plan to gain less regressive taxes; we can get the advantage by the status quo.

例の中の(1),(2),(3),(4)は、それぞれ上記のタスクの説明1., 2., 3., 4.に対応しています。(1)反論したい相手の主張は何なのか(2)自分たちの主張は何なのか、(3)自分たちの主張の理由は何なのか(4)反論の帰結は何なのかが示されています。

上記の4つのタスクをなぜ実践するべきなのかは、それぞれのタスクを実行しないとき反論にどのような不備があるかを考えてみれば明確になります。まず1.についてですが、どこに反論したいか明示しないで反論を始めてしまうと、聞き手である審査員がノートを取りにくくなってしまいます。最悪の場合、せっかくいいことを言っても全くノートに取ってもらえなかったために、命題の肯定・否定に失敗して試合に負けてしまうことになるでしょう。最後のスピーチで議論が収斂して数少ない場合には、1.を省略することはそれほど問題にならないかもしれませんが、たくさんの議論に答えなければいけない場合は省略するべきではないでしょう。

2.についてですが、自分の主張がはっきりしない場合、聞き手(審査員)の解釈の余地が広がって自分が判断してもらいたい通りに判断してもらえない可能性が高まります。

「日本国籍の取得申請をした人が100人いて、実際に日本国籍を取得した人数は35人であった」という資料を読んだものの主張が提示されない場合は、聞き手が「35人も国籍を取得しているから問題ない」と解釈するか、「半数以上の人日本国籍を取得できないから問題がある」と解釈するかはわかりません。自分が伝えたいことは明確に伝えておくべきでしょうから、2. は省略するべきではありません。

3. についてですが、理由が存在しない反論はそもそも議論ではありませんし、そのような反論には、相手の議論よりもなぜ自分の主張のほうが相対的に優れているのかという根拠が存在しません。結果として、自分が言いたいことを聞き手に受け入れてもらえる可能性は低くなります。「相手はXと述べているが、それは間違っている。」と言うだけでは、なぜ間違っているのか理由がわかりません。結果として、相手がXを説明したら相手の意見の方が相対的に正しいとなってしまう可能性が高いでしょう。自分の反論が相手の議論よりも優れていると示すためにも、3. は省略するべきではありません。

4. についてですが、この要素が抜けてしまうと、命題の肯定・否定が難しくなります。というのは、4. は命題の肯定・否定のためにそれぞれの反論が最終的にどのような意義を持つのか示す役目を果たしているからです。すべての反論にこの要素を含めなくとも構わないでしょうが、本当に大事な議論である場合、4. を明示して聞き手に自分の意図を伝えるべきでしょう。

(2)のグルーピング (grouping) について、時間を節約するために共通の想定に基づく議論をまとめた上で答えることをトーマスはすすめています。例えば、「日本国政府は、人クローン胚の作成および人体への応用に関する規制を大幅に緩和すべきである」という命題の下で、否定側が「クローン人間作成は生命への冒瀆になる」という議論と「クローン人間が悪い目的に使われる」という議論を提示してきたとします。このような場合、それぞれの議論に答えていくことも可能です。しかし、2つの議論で共通に想定されていること(人クローン胚の作成が人クローンの作成につながる)を使ってひとまとめにして(グループ化して)次のように答えることもできます。「否定側の議論は、人クローン胚の作成が人クローンの作成につながると考えているが間違いである。なぜなら...。」時間の節約だけでなく、聞き手がノートを取りやすくするためにも相手の意見をまとめることは大事です。

1. — ← My third argument denies this, because —
2. — ← My third argument denies this, because —
3. — ← My third argument denies this, because —
4. — ← This argument is based on dubious presuppositions, because —

このようにして答えてしまうと、聞き手のフロー用紙にはスペースが無くなってしまい、その他の大事な反論(上記の場合4番目の議論への反論)を別の紙や同じ紙の裏に書く時の時間のロスで主張を書き落としてしまうかもしれません。

1. — ← Group arguments 1 to 3 together.
2. — ← My third argument denies these, because —
3. —
4. — ← This argument is based on dubious presuppositions, because —

このようにまとめて答えると、時間及びフロー用紙のスペースの節約につながり、一つの議論に時間をかけることができるので、わかりやすく説明できる可能性が広がります。相手の議論をまとめるときに使う group ということばは以下のように使われています。

GROUP : まとめる

Four, five, six and seven, group it.

Extend third and fourth arguments, where he groups them.

Accidents, group it together.

Group his arguments together.

Group this point together.

Just group his arguments together.

(3) のナンバリング (numbering) は、複数の議論を提示する時にわかりやすい構成を維持するためには必要になります。議論ではないのですが、本の章立てはナンバリングをうまく使っている例です。下記に掲載しているのは、ナンバリングを省いた『クリティカルシンキングの技術』という本から引用です。いくつ主張があるかナンバリングしてみてください。

人間の「認識」はその人のもつ「スキーマ」に左右され、時として判断に混乱が生じたり、認識を誤ったりする。情報を認識する場合には、それまでに得られた知識と対比させて(スキーマを通して)意味を認識するから人によって認識が違ってくる。人間は最初の情報に思考の基準を起き、そこを機転に無意識のうちに一定の範囲内でしかものを考えなくなる傾向がある。人間が情報を処理する能力には限界があって、無意識のうちに情報を選択的に取り入れている。人間は自らを思考の檻に閉じ込め、問題解決を難しくすることがある。(21 ページ、一部変更)

難しいでしょうか? 複数の主張があるときには数を適切につけていないと、混乱を招きます。立論の時に主要な論点に分け、サブポイントをつけるのは不要な混乱を避けるためです。反論の時に数をつけることで、自分の主張がいくつあるか伝えていくとよいでしょう。ちなみに答えは以下の通りです。

1. 人間の「認識」はその人のもつ「スキーマ」に左右され、時として判断に混乱が生じたり、認識を誤ったりする。
2. 情報を認識する場合には、それまでに得られた知識と対比させて(スキーマを通して)意味を認識するから人によって認識が違ってくる。
3. 人間は最初の情報に思考の基準を起き、そこを機転に無意識のうちに一定の範囲内でしかものを考えなくなる傾向がある。

4. 人間が情報を処理する能力には限界があって、無意識のうちに情報を選択的に取り入れている。
5. 人間は自らを思考の檻に閉じ込め、問題解決を難しくすることがある。

実際のところ一文ずつで主張が変わっており、全体がそれほど長くないために難しく感じないかもしれませんが。しかし多少難解な書籍で主張を明示せずに延々と論を展開されてしまうと、その本を読むことは小説を読んでいくような作業になっていくはず⁴。口頭で議論を展開する教育・競技ディベートの場合、情報の受け手である聞き手に許されるペース配分の自由は、「読む」という行為を自分のペースで行う読み手よりも少ないでしょう。そのことを鑑みても、情報の伝え手ができる限りわかりやすく議論を提示するためにナンバリングを使うことが必要だといえます。

5 最後に

内容と表現・構成のわかりやすさにあえて分けた上で反論について説明してきましたが、読み手のみなさんにとって内容があり、わかりやすいものであったことを願います。わかりやすさに絶対の解はないのかもしれませんが、上記のことに気をつけて練習を重ねていくことで、スピーチのわかりやすさは多少なりとも高まっていくはず⁴です。一人一人のディベーターが今よりもよいディベーターになっていけることを願っています。

参考文献

- [1] 1990 National Debate Tournament Final Debate: Should the federal government adopt an energy policy that substantially reduces nonmilitary consumption of fossil fuels in the United States? in *Argumentation and Debate: Critical Thinking for Reasoned Decision Making*. 8th edition. Austin J. Freeley. Belmont California: Wadsworth Publishing Company, 417-453.
- [2] Boaz, John K. ed. (1984). 1984 National Debate Tournament Final Debate: Should Any and All Injury Resulting from the Disposal of Hazardous Waste in the United States be the Legal Responsibility of the Producer of That Waste? *Journal of American Forensic Association*, 21, 16-44.
- [3] Boaz, John K. ed. (1987). 1987 National Debate Tournament Final Debate: Should One or More Presently Existing Restrictions on First Amendment Freedoms of Speech and/or Press Established in One or More Federal Court Decisions be Curtailed or Prohibited? *Championship Debates and Speeches*. Annandale, VA: Speech Communication Association. 1-50.

⁴主張の展開の仕方が小説とは違うため、小説を読むより難しく、退屈だと筆者は考えています。

- [4] Goodnight, Lynn. (1991). *Getting Started in Debate*. Lincolnwood, Illinois: National Textbook Company.
- [5] Johnson, R. H. and J.A. Blair. (1993). *Logical Self-Defense*. 3rd ed. Toronto: McGraw Hill Ryerson.
- [6] Romain, Dianne. (1997). *Thinking Things Through: Critical Thinking for Decisions You Can Live With*. Mountain View, California: Mayfield Publishing Company.
- [7] 清ルミ (2000). コミュニケーション教育への提言 日本語教育学の立場から 『コミュニケーション教育の現状と課題』 コミュニケーション教育フォーラム '99 東海大学教育開発研究所編 英潮社, 47-78
- [8] Thomas, David A. (1987). Rebuttal Strategies. *Advanced Debate*. 3rd ed. Lincolnwood, Illinois: National Textbook Company, 90-100.
- [9] 寺田欣司 (2001). クリティカルシンキングの技術 東京:オーエス出版.

付録 : Useful words and phrases for debate

下記は米国全国ディベートトーナメント (National Debate Tournament) の試合記録 (84, 87, 90年) にでてきた英語表現で, ディベートに使えるものを加筆訂正のうえまとめたものです。口語英語のため, 時制などの点で厳密に見るとおかしいと思われるものがあるかもしれません。しかし, 生の英語ですので, ディベートをするときに使ってみてください。

ADMIT/GRANT : 認める

She admits to me in cross-exam at ...

ADVANTAGE : 利点, メリット

There's no advantage to this.

ANSWER : 返答(する), 答え(る)

Her new answer will be evolved.

She doesn't attempt to answer ...

There is no answer to ...

She still doesn't answer our impact.

We'll answer more on the second disad(vantage).

The third card in the 1AC, answers this.

He's dropping my answer.

He has no answer to that before.

That's the fourth answer on the CO2 disadvantage up above.

He virtually has no answer here.

APPLY : あてはまる

This clearly doesn't apply to feminism, given that ...

He needs to apply them specifically into that, and when he does then new answers will be evolved.

I don't think it applies.

Their evidence does not apply.

All of arguments apply.

She says, our evidence does not apply. She does not explain this argument whatsoever.

ARGUE/ARGUMENT : 論じる , 議論

This argument is merely that ...

He's making no argument as to why ...

We argue in the second affirmative with evidence that ...

Which proves my argument which I made in cross-exam.

I'll argue below that ...

Please go to where we argued.

First of all, this is brand new. He never argues that before.

She does not explain this argument whatsoever.

ASSUME : 想定する

It doesn't assume the NPT (Non Proliferation Treaty) will collapse, which we'll win down below.

ATTEMPT : 試みる

She doesn't attempt to answer, ...

AUTHORITY : 権威

There is no authority.

BIAS : 偏見 , 偏りがある

Negative evidence biased.

(syn.) It's distorted.

BRINK, ON THE BRINK : 瀬戸際 , 瀬戸際の

we're on the brink.

we're brink right now.

CARD (EVIDENCE) : 証拠資料

I read six cards in the first negative constructive all saying ...

CONCEDE : 認める

We'll concede number one ...

CROSS-APPLY : 別の争点に当てはめる (注 : 例えばデメリット 1 での議論をデメリット 2 でも用いるときに使う。)

I clearly cross-apply at the bottom of the CO2 disadvantage all answers to the other disadvantages, —

DISAD (DISADVANTAGE) : デメリット, 弊害

If they had run disad(vantage)s to this, — 87

Third, there's no disadvantage here, —84

DROP : (議論に) 触れない

He' dropping all of my evidence that says that ...

The evidence is dropped, which proves ...

He's dropping my answer.

They have dropped all the evidence saying ...

All that evidence is dropped.

There's no right to look at it which is all dropped in 1NR.

He drops my third argument, ...

EMPIRICAL : 経験的な

Empirically denied.

Empirically it's not.

It's empirically true.

It's empirically disproved.

Turns empirically untrue.

There is no empirical link.

1NR empirically denies the disad(vantage).

He just says empirically.

None of this has ever happened empirically.

I mean it has been empirically denied.

EVIDENCE (CARD) : 証拠資料

He's dropping all of my evidence that says that ...

We argue in the second affirmative with evidence that ...

More impact evidence from Professor Hirai in 1990

Our evidence indicates that ...

That's the evidence in 1AC.

There is no evidence that indicates ...

..., which is the link evidence in 1NC.

The 1NC link evidence from Professor Matsumoto says that ...

That's the evidence on the case.

Our evidence is, on balance, better.

Our evidence on point says that ...

He's reading evidence that says empirically ...

First of all evidence is old.

This evidence is ridiculous.

Evidence of the first contention says that ...

Evidence is a complete blurb. Should not accept it.

EXPLAIN : 説明する

I'll explain on it.

I explain down below indicating ...

... which I explained above.

EXTEND : もとの議論をのばす

Please extend the third card on A subpoint.

He extends down below ...

FLIP/TURN something BACK ON them : 議論を逆手にとって相手に返す

...flipping back all of his arguments.

We flip this back on them.

..., which turns case back on them.

turns their card back on them.

GRANT : 認める

I'm going to grant six and seven.

She grants link to religion.

... is granted at the top of A subpoint.

I'll grant them the arms race.

He grants our evidence.

GROUP : まとめる

Four, five, six and seven, group it.

Extend third and fourth arguments, where he groups them.

Accidents, group it together.

Group his arguments together.

Group this point together.

Just group his arguments together.

INDICATE : 示す

We indicate that ...

I explain down below indicating ...

She says, never in the past, and we indicate now is a unique time,..

There's no evidence indicating ...

Fourth argument in 1AR was dropped indicating ...

IRRELEVANT : 無関係の

He said, ... is irrelevant, but ...

I'm going to grant six and seven. Free speech is irrelevant. Makes all the turns irrelevant as well.

JUSTIFICATION : 正当性

There is no justification for the new argument in the 2NR.

LINK : リンク, つながり

No link.

... which means there is no link.

He says there is no link. Yes it is. It's very specific.

This proves link to religion.

Double link to ...

The technology link isn't unique.

LIKELY : ありそう

It's more likely than ...

It's the most likely scenario for war.

MEAN : 意味する

S+V which means S+V.

ON BALANCE : 結局, 相反する意見を考慮すると

Our evidence is, on balance, better.

OUTWEIGH : ~にまさる

I think any increment would outweigh.

I think it's going to outweigh the case.

Our links outweigh theirs.

POINT : 論点, 要点 My point here is merely that ...

PROVE : 証明する, 示す

She didn't prove ...

The case side evidence proves this.

..., proving uniqueness to turns.

The evidence below proves that ...

To do a permutation would prove ...

It's irrelevant. Courts still prove the disad(vantage) is not unique.

Their evidence on the third argument all proves that ...

... prove itself not true in the future ...

QUALIFICATION : 肩書き

There's no qualification on any of this evidence. We're reading qualified sources through the constructives.

REASON : 理由

There's no reason in the evidence why ...

There's no reason for that.

Our evidence gives concrete reasons.

I mean that's no reason you can accept it.

There's no reason not to accept it.

RESPONSE/RESPONSIVE : 答え, 答えて

His next response is that ...

That's the same response as five.

She's not responsive.

RISK : リスク, 危険

I'm going to give you absolute risk on these disad(vantage)s.

There's no risk of ...

He says escalation risk is low.

SAY : 述べる

That's all up above saying that ...

SCENARIO : シナリオ

It's the most likely scenario for war.

There's no scenario for this.

SOLVENCY : 解決性

That's the way they get the solvency.

SOURCE : 出典

We're reading three cards from Habermas, who's an incredibly qualified source.

We're reading qualified sources through the constructives.

It's more qualified source, it's an expert on ...

SPECIFIC/GENERIC : 特定の, 特殊な/一般的な

It's not specific to ...

These are generic cards.

STATUS QUO : 現状

... already in the status quo.

TAKE OUT : 取り除く

My brink card takes this out.

That's all taken out above ...

All my evidence takes out all their argument.

UNIQUE : 唯一無二の

He says, non unique, ...

..., proving uniqueness to turns.

Second disad(vantage), which is a unique scenario.

... and we indicate now is a unique time.